

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DD322／都市生活誌 (Ethnography of Urban Life)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	都市の貧困問題について考える		
担当者名 (Instructor)	仁井田 典子(NIITA NORIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

同じ社会に生きる他者への理解を深める  
都市の貧困問題について社会的に説明できる

- ・Deepen our understanding of others who live in the same society as ourselves
- ・Acquire the ability to give a sociological explanation of urban poverty issues

#### 授業の内容 (Course Contents)

この授業では、現代の日本の都市において労働や生活に困難を抱えた人たち、もしくは、そうした状況を問題だとして社会に訴えようとする人たちに注目する。彼ら・彼女らがどのような状況におかれているのか、いかなる社会的世界(行為の準拠枠となるものの見方を共有する人びとのまとまり)を生きているのか、彼ら・彼女らのいかなる集合的行動がみられるのかについて、統計的なデータだけでなく、彼ら・彼女らによる語りなどをもとに、コロナ禍における状況も踏まえつつ、できるだけ具体的にみていく。彼ら・彼女らの社会的世界や集合行動を明らかにしていくことを通じて、社会不安という観点から都市の貧困問題に迫ってきたい。

In this class, we will focus on people who have difficulties working and living in modern Japanese cities. We may also consider those people who are trying to get society to acknowledge that this is a problem that needs to be addressed. While taking into account the conditions created by the COVID-19 pandemic, we will use statistical data, as well as the personal narratives of these people, to examine in as much detail as possible their situations, the social world (a group of people who share the same frame of reference for action) in which they live, and the kinds of collective action they take. We will consider urban poverty from the perspective of social anxiety by elucidating the social worlds and collective actions of these people.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション: 都市生活誌とは
2. 現代日本の都市における貧困問題
3. 正規雇用の仕事に就いていない若者たちのおかれた現状
4. ジョブカフェを介して集まる非正規雇用や無職の若年男性たちの社会的世界
5. 補論①: 都市におけるうわさについて
6. 家計の主な担い手として働き続ける女性たちのおかれた現状
7. 単身で働き続ける女性たちの社会的世界
8. 個人加盟の労働組合で活動を続ける女性たちの社会的世界
9. 外国人労働者たちのおかれた現状
10. 外国人労働者たちの社会的世界
11. 雇用によらない働き方をする労働者たちのおかれた現状
12. プラットフォームワーカーとして働く労働者たちの社会的世界
13. 補論②: ステイグマについて
14. まとめ: 都市の貧困問題と社会不安

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

わからなかったところについては、授業後に質問する、資料を読み返すなどして理解しておくこと。できるだけ授業でふれた内容の関連文献に目を通すようにすること。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%) / コメントペーパー(30%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 文貞實ほか、2019、『コミュニティ・ユニオン：社会をつくる労働運動』、松籟社
2. エドガール・モラン、1980、『オルレアンのうわさ』、みすず書房
3. アーヴィング・ゴフマン、2001、『スティグマの社会学：烙印を押されたアイデンティティ』、せりか書房

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)